

## 青少年の地域参加を通した教育を支援する担い手を知ろう

黒沼 敦子

東京大学大学院  
教育学研究科  
前国際基督教大学  
サービス・ラーニング・センター  
講師・コーディネーター



話題提供

「米国大学機関におけるサービス・ラーニングと  
コミュニティ・エンゲージメントの担い手にみる  
Professional identityの多様性」

ワークショップ

「日本における地域連携教育の担い手マッピング」

2022 11/18 19:00~21:00  
(金) Zoom

参加費:無料

ご講演を受けてワークショップでは、青少年の地域参加を通した教育を支援している、関わっている参加者ご自身のProfessional identityをリフレクションし、各自の現在と未来への希望をマッピングします。そこから見えた日本の地域連携教育の担い手の特徴を踏まえて、今後に向けて、Professional identityを支える自らの価値観を見つめる機会を持ちます。さらに、日本の強み、弱みをどう活かし、どう改善していくか意見を交換できればと考えています。

オンライン講演＆ワークショップ

『青少年の地域参加を通した教育を支援する担い手を知ろう』

日時：2022年11月18日（金）19:00～21:00 オンライン実施

研修部会・研究部会共同企画

話題提供 黒沼敦子さん：東京大学大学院 教育学研究科、前国際基督教大学サービス・ラーニング・センター講師・コーディネーター

「米国大学機関におけるサービス・ラーニングとコミュニティ・エンゲージメントの担い手にみる  
Professional identityの多様性」

ワークショップ「日本における地域連携教育の担い手マッピング」

話題提供では、黒沼敦子さんから、サービス・ラーニングやコミュニティ・エンゲージメントの担い手について、アメリカ大学機関での現状をお話しいただいた。当事者の声をはじめとした貴重な研究成果を共有いただいたことで、アメリカ大学機関でのサービス・ラーニング＆コミュニティ・エンゲージメント(SLCE)の担い手の多様さと層の厚さ、担い手が SLCE のどのプロセスに価値を置いて働いているのかを知ることができた。研究成果から見出された「SLCE の担い手の Professional Identity は、学生の学びと成長にも影響を与える」という気づきを、日本で SLCE に携わる私たちも胸に刻んでおきたい。ご講演後、会場からは「Professional identity を表す言葉が多種多様」であることへの驚きや、「プロフェッショナルの意味づけによって、本人のモチベーションや社会の中での地位確立がなされる」ことへの気づきなどが挙げられた。

ご講演を受けてのワークショップには、青少年の地域参加を通した教育を支援している、もしくは関わっている方々にご参加いただいた。ワークショップでは、まず参加者それぞれが、ご自身の経験に基づく Value (価値観) を言語化しグループで共有しながら現状をふりかえった。さらに Value (価値観) を表現できる Professional Identity (職業的アイデンティティ) は何かを考え共有した。最後に、職業人として地域連携教育を通して何を目指すのか、価値観と職業的アイデンティティを踏まえた宣言文を書いて終了した。それぞれの宣言文から、参加者が何を大事に地域連携教育に携わっていこうとしているのかが伺われた。

参加者からの感想として、講師の黒沼さんや参加者の多様な経験とアイデンティティについての話から大きな刺激を受け、今後の自分自身のキャリアを考える参考にしたいと言った声が上がっていた。